

黑龍江省檔案館編

滿鐵調查報告（第一輯）21

廣西師範大學出版社

昭和十三年三月二十三日

北滿經濟資料第九二號

北滿ニ於ケル諸調査機關要覽

滿鐵・北滿經濟調査所

目次

附錄

北滿ニ於ケル調査機關概説	一
概説	一
一般的經濟調査ノ性質ニ就テ	二
(一) 調査機關最近ノ實蹟ノ檢討	五
(二) 北滿ニ於ケル滿洲國經濟調査機關ノ動向	二
北滿經濟調	二
(一) 資源調査法ト滿洲國調査機關ノ動向	二
凡例	二
一 北滿ニ於ケル調査機關最近ノ實施調査内譯表	二
1 濱江省公署 (康德四年度)	二
2 哈爾濱日本商工會議所 (昭和十一年四月)	二

ハシガキ

日産ノ滿洲進出ニ依ル滿鐵ノ改組ヲ繞ツテ、社内ニ於テ最モ激烈ナ變革ヲ要ツタノハ産業部テアツタ。此ノ調査機關ノ中央統制機關カ瓦解シタ爲其ノ現地分派機關トシテノ北滿經濟調査所ニ於テハ、其ノ歸趨ニ關シ、指導原理或ハ業務方針乃至業務對象ニ付テ或程度ノ動搖カ見ラレタ。滿鐵調査界ノ斯ル混沌タル情勢ニ於テ、北滿經濟調査機關トシテノ本質或其ノ社外ニ於ケル地位ヲ明ニスルコト及其ノ業務ノ方向ヲ規定スルコトハ、最モ重要ナ現實的課題トシテ現ハレタノテアル。

本稿ハ斯ル要求ノ爲業務資料トシテ執筆シタモノテ「大陸政策ニ於ケル滿鐵ノ歷史的使命ノ檢討及産業部解體ヲ繞ル滿鐵調査機關ノ動向ト最近ニ於ケル北滿ノ調査機關實績ノ批判」中ノ一部分テアル。

取急キ纏メタ爲、尙多クノ資料ノ不備、分析ノ不充分乃至論理的缺陷ヲ有スルカ各調査機關ニトツテ一箇ノ參考資料トシテ役立タハ幸テアル。

擔 當 者 商 工 係 代 元 正 成

昭和十三年三月十八日

滿鐵・北滿經濟調査所

一 北滿ニ於ケル調査機關概説

(一) 概説

北滿ニ於ケル調査機關ニハ所屬ヲ大別スレハ滿鐵關係、滿洲國關係及商工會議所並商會カアリ、其ノ性質カラ謂ヘハ一般經濟調査機關トシテハ滿鐵關係ノモノテハ北滿經濟調査所、哈爾濱、牡丹江、齊齊哈爾各鐵道局產業課カ其ノ主ナルモノテ、滿洲國關係テハ哈爾濱、牡丹江、三江、龍江、黑河各省公署實業廳及省長官房調査股、市公署商工科、農政科等カ其ノ主要ナルモノテアル。其ノ他テハ哈爾濱商工會議所（本年三月商會ト合同シテ商工公會ニ改組サレタ）カ最モ代表的ナモノテアル（哈爾濱中銀分行ノ調査科カアルカ調査員ハ僅カ一名テアリ主トシテ物價並生計費調査ニ當ツテ居ル）。尤モ地方的機關トシテハ各縣公署ヲ筆頭ニ農事合作社ヤ市公署（牡丹江、佳木斯、齊齊哈爾）、商工會議所（所在地ハ市公署ニ同シ）、商會等カアルカ何レモ行政的機關テアツテ専ラ調査ヲ主トスルモノナク、其ノ調査モ局地的個別的テアツテ纏ツタモノテハナイ。滿鐵關係テハ主トシテ產業部カ其ノ連絡統制ニ當ツテ居タカ、滿洲國テハ產業部乃至經濟部カ省公署ヲ通シテ一般的經濟調査ノ連絡統制ニ當ツテ居ル。自然科學的技術的試驗研究調査機關テハ滿鐵ニ各鐵道局ノ營業課混保検査所、哈爾濱細菌研究所、哈爾濱農事育成場カアリ、滿洲國テハ大陸科學

院哈爾濱分院、哈爾濱農事試驗場、市公署衛生科等カアル。滿鐵ニ於テハ其ノ他業務上必要ナル調査機關トシテハ各鐵道局ノ輸送課貨物係カアリ、其ノ他北滿河川ノ水路及沿岸產業事情並沿岸各地ニ於ケル水運市況ヲ調査スル哈爾濱鐵道局水運課ハ極メテ一般經濟調査機關の性質ヲ帶ヒテ居ル。更ニ各鐵道局總務課資料係ハ本社弘報課ノ統制ノ下ニ情報並業務上必要ナ一般經濟資料ノ蒐集、作成、整理ニ當ルモノテ、一般經濟調査機關ト極メテ密接ナ關聯ヲ持ツテ居ル。混保檢查所貨物係モ一般經濟調査ヲモ爲スカ夫レハ本來ノ業務テハナクシテ業務遂行上補助的ニ爲サレル場合力多イ。

北滿ニ於ケル調査機關ノ概觀ハ以上ノ如クテアルカ、本質上最モ複雑デアリ從テ最モ重複混亂ニ陥ル危險ノ多イノハ經濟調査機關テアル。本節テハ專ラ此ノ一般經濟調査機關ノ代表的ナモノニ就テ最近ノ實績ヲ檢討シ其ノ特質ヲ訊シ之等ノ相互關係ニ就テ其ノ歸趨ヲ明カニシタイト思フ。而シテココニ所謂最モ代表的ナモノトシテハ北滿經濟調査所及各鐵道局產業課（以上滿鐵關係）濱江省公署、哈爾濱市公署並哈爾濱商工會議所及滿人側テハ哈爾濱ノ二商會（道裡、道外）ヲ舉ケ得ル。

（一）一般經濟調査ノ性質ニ就テ

經濟調査機關ノ整備充實乃至特質ヲ表徵スルモノニハ調査員ノ量ト質及調査對象ノ範圍

カアル。之等ノ結果ハ大體調査事項ノ性質乃至範圍ニナツテ表ハレル。

範圍ニ就テハ形態的ニハ時間的及空間的ノ兩方面カラ考察シ得ラレルカ、内容的ニハ一般的ト個別的ニ大別シ得ラレヤウ。例ヘハ「滿洲事變後ノ北滿ニ於ケル商工業ノ動向調査」ト云フ場合時間的ニハ滿洲事變後ノ五、六年間テアリ、地域ハ數多ノ縣ヤ市カラ成立ツテ居ル北滿ト云フ場所カアル。内容的ニ見ルト特產ヤ雜貨ヤ色々ノモノヲ取扱フ個別的ナモノノ綜合タル商業、製粉ヤ製油ヤ色々ノ商品ヲ生産シテ居ル個別的ナ工業ノ綜合タル工業一般ト之等ニ關係カアル銀行ヤ鐵道輸送ヤ農民ノ消費力ヤ購買力カ論シラレテ居リ總體的ニハ一般的調査テアリ、個別的調査ハ此ノ綜合調査ノ特殊のナ一部分テアル製粉工業ヤ銀行ノ營業狀態等ノ如キモノテアル。而シテ一般經濟的觀點カラ謂ヘハ、工業一般モ、金融一般モ相對的ニハ個別的テアリ、銀行ノ營業狀態ト謂ツテモ個別的ニハ銀行預金ヤ貸出ノ特質、傾向ノ如ク更ニ細分的個別化シ得ルノテアツテ、一般個別トハ謂フモノノ要スルニ相對的ニ分割シ得ルニ過キナイ。

經濟調査ノ性質ニ就テハ一般的タルト個別的タルトヲ問ハス大體基礎的調査ト現象的調査トニ大別シ得ラレヤウ。基礎的調査トハ主トシテ特定社會ノ基本的構成ヲ問題トシ、推移ノ客觀的法則乃至原動力及推移ノ過程ヲ對象トスルノ生産關係ノ基本的分析調査テアリ

夫レハ例ヘハ舊滿鐵經濟調查會ノ滿洲經濟年報ニ現レタ様ナ調査テアル。現象的調査ハ專ラ社會事象ノ具體的ナ顯現ヲ對象トスルモノテ例ヘハ特産市況ヤ油房生産狀態ノ如キモノテアル。然シナカラ社會推移ノ客觀的法則乃至原動力ニ關スル調査ハ種々ノ現象ノ分析綜合カラ抽象綜合サレルモノテアルカラ、基本的調査ハ個別的現象的調査ノ綜合テアリ、範圍トシテモ一般的傾向ヲ帶ヒ勝テアル。而シテ抽象綜合ノ爲ニハ極メテ龐大ナ細密ナ個別的調査ヲ必要トスルノテアルカ之等ノ個別的調査カラノ抽象化カナクトモ素材トシテ統一の整理ヲ爲サレタモノモ普通基礎調査ノ内ニ入レルヘキデアラウ。否夫レハ基礎的調査ノ統一の具體的形態ナノテアル。一般的ナ若ハ個別的ナ個別的現象ハ又逆ニ綜合的ナ基本條件ノ一般ノ或ハ特定ノ發現形態テアルカラ、個別的調査ノ内ニモ基礎的調査ノ一般的或ハ抽象的ナ表現力見ラレル譯テアル。此ノヤウニ個別的調査ハ基礎的調査ノ素材トシテ其ノ特定ノ具體化テアルカ、個別的範圍ニ於テ抽象サレ法則化サレル場合ハ其ノ一部分トシテ特定ノ抽象トナル。

如上ノ如ク經濟調査ハ範圍ノ内容カラ大別シタ一般的調査ト個別的調査ノ内ニ性質トシテ基礎的調査ト現象的調査ヲ含ンテ居ルカ（或ハ其ノ逆）、之等ノ調査ノ有機的統一ハ調査機關ノ整備充實乃至特質ヲ示スモノトシテ極メテ注意ニ價スル。

(三) 北滿ニ於ケル調査機關最近ノ實績ノ檢討

(1) 濱公省公署

一般ニ省公署ハ政治産業教育等ノ地方的機關テアリ當局ノ要求トシテ其ノ調査モ行政的地域ニ限ラレル傾向カ強ク、内容トシテモ經濟的調査ヨリハ寧ロ行政的必要ノ爲ノ種々ノ業務的調査カ多イヤウテアル。業務的調査ト云フモノノ行政ノ基本方針カ産業經濟ノ現狀推移ニ依ツテ規制サレル爲經濟的調査トハ密切ナ關聯ヲ持ツテ居ルニハ違ヒナイカ、一般經濟トシテハナク各行政的機關ノ所管箇所ニ於テ極メテ簡別化サレタ行政的調査カ多イ。其ノ内ノ最モ代表的ナモノトシテ教育廳、警察廳ヲ舉ゲ得ラレル。之等ハ附錄第二ノ調査項目ニ見ル如ク悉ク教育行政乃至警察行政ノ爲ノ調査デアツテ經濟的調査トノ關聯度カ薄イ。道路及水利ヲ司ル土木廳ニ於テモ産業道路築造、橋梁架設ノ如キ極メテ技術的傾向カ強イ調査カ多ク、産業經濟發展工作トシテハ極メテ重要ナ意義ヲ有スルカ、經濟調査トハ甚タ縁カ遠イ調査テアル。而シテ之等ノ調査ハ各縣初等教育狀況及教育設置調査(教育廳)、匪賊出沒ニ關スル調査(警察廳)ノ如ク極メテ簡別化サレタ内容ノモノカ多イ。地域的範圍テハ警察廳、教育廳ハ省管轄全地方ヲ含ムヤウナ極メテ廣範圍ノモノカ多數ヲ占メテ居ル。土木廳テハ反對ニ局地的若クハ數縣ニ亘ルモノカ

多イヤウテアル。此ノ三機關ハ行政機關ノ調査ノ特質ノ一部分ヲ極端ニ表現シタ部門テアル。

民生廳ニナルト經濟調査カ稍多クナルカ保甲、集團部落、街豫定地ニ關スル調査ノ如ク政治行政法制ノ行政的箇別的調査カ最も多數テアル。地域の範圍テハ省管轄全體ニ亘ルモノカ殆ト大部分（總計中七七％）テアル。

註 昨年ノ新職制ニ依ツテ民生廳ハ解體サレ、舊財務科ハ地方科ニ含マレテ省長官房ヘ其ノ他行政科モ同様ニ改變サレタ。嘗テノ教育廳ハ解消シ民生廳ニ移行サレタ。

經濟的調査ノ最も代表的ナモノハ實業廳テアル。實業廳ハ產業經濟カ直接ニ主體的對象トナツテ居ルノテ、政治法制、水利都市ノ如キ技術的箇別的調査ハ影ヲ潛メル。

組織ハ新職制テハ商工、農林、拓政、殖産ノ各科ニ分レテ所轄業務カ夫々分掌サレテ居ル。

商工科關係ニ於テ經濟調査ノ主體ヲ爲シタモノハ所謂資源調査トシテ新京產業部トノ協同ノ下ニ爲サレタ工場調査並滿洲國國際收支カアル。其ノ他テハ各縣商工概況調査カ主ナモノテアル。之等ハ地域の範圍乃至內容の範圍ニ於テモ省管轄全體ヲ包含シ、性質

トシテモ基礎的調査テアル。中央トノ協力ノ下ニ於テ爲サレタ調査ハ極メテ優秀テアルカ各縣商工概況ハ極メテ現象的テアツテ其ノ集計方法モ拙劣テ利用範圍カ制限サレル程ノ調査テアル。資源調査トシテノ工場調査モ詳細テアリ素材トシテハ極メテ利用價值カ高イカ一般ニ公表サレス、集計方法モ尙軍事的要求カラノ包括的方法カ採ラレ不均等ナ社會事象ノ發展ノ具體的分析ニハ尙嫌ラヌ點カ多々アルノテ、經濟調査トシテノ價值ヲ低下セシメテ居ル。而シテ度量衡普及調査ノ如キ純然タル箇別的行政的調査カ施行サレテ居ルノハ官廳調査機關ノ特質トシテ極メテ注意ニ價スル。

農林科テハ農業、林業、畜産等ニ關スル調査ヲ行ツテ居ルカ、重要ナル調査トシテハ收穫豫想聯合會ニ於テ統一施行サレル農產物收穫豫想及出廻調査カアリ更ニ森林計畫資料調査家畜飼養頭數調査、役畜動態候補縣ニ關スル調査等ノ如キ一般のナ調査カアル。其ノ他テハ種子消毒實績調査、種畜場調査等ノ如キ技術的行政的調査カ多イ。範圍ハ極メテ廣汎テ省管轄全體ニ亘ルモノカ多イ。

拓政科テハ新京拓政司調査班トノ協同調査タル地、墾地適地精密調査及各縣ヲシテ調査セシメタ自由移民現況調査ヲ主トシ、鮮人移民適地調査、管内鮮人一般事情五常縣ニ於ケル日本移民用地内ノ鮮農轉換地調査等ノ行政的調査カアル。

省長官房調査股ハ産業行政上ニ必要ナ資料ノ蒐集整理ヲ主トシ更ニ二、三ノ調査ヲ行フ機關テアルカ、省管内十縣十屯ノ農家經濟ニ關スル調査ヲ唯一ノ收穫トシテ取立テテ云フヘキ調査ハナイヤウテアル。

次ニ之等ノ諸多ノ機關ニ依ツテ行ハレタ調査ノ方法ヲ見レハ、所謂現地調査ナルモノハ極メテ少ク、各縣旗ニ下命令達シテ行ツタモノカ絶對多數デアリ、地域内容ノ廣汎ナルニ從フテ其ノ數ハ益々増加シテ居ル。從テ其ノ調査ノ優秀ナル結果カ期待サレルコトハ一ニ地方機關縣商會等ノ調査當局者ノ量質的整備ニ全ク依存スル譯テアル。而シテ地方調査機關ノ調査能力ハ未タ満足スヘキ狀態ニ迄到達シテ居ナイ。夫レハ警務廳調人口ト行政科トノ夫レカ甚タ喰違ツテ居ルコトニモ見ラレル。産業經濟ニ關スル一般的統計スラモ整備シテ居ナイ地方カ多イ。治安カ惡イ地方ハ特ニソウテアル。從テ下命令達ニ依ル調査テハ甚シク正確ヲ期シ難イ狀態ニアル。蓋シ夫レハ地方機關カ十分ナル調査費ヤ調査人員ヲ與ヘラレテ居ス、最近ノ客觀的情勢ノ逼迫ノ爲地方行政ニ忙殺サレテ居ルコトニ起因スルモノテアラウ。

要スルニ官廳調査ノ特質ハ

第一 經濟的調査ヨリハ行政的調査乃至ハ後者ノ性質ヲ多分ニ持ツ調査カ多イ。

第二 地域のニハ省全體ノ如キ廣範圍ニ亘リ内容的ニハ極メテ箇別的技術的調査ノ傾向カ強イモノカ多イ。

第三 一般的經濟的基礎調査ハ主トシテ中史機關ニ隸屬シテ行ハレルモノハカリテ、夫レ自體トシテハ斯ル調査ハ極メテ乏シイ。

第四 調査方法トシテハ机上調査カ大部分ヲ占メテ居ル。其ノ爲ニ極メテ現象的ナ杜撰ナ調査トナル恐レカアル。

(2) 哈爾濱市公署

哈爾濱市公署ニ於テ調査ヲ行フ機關ハ商工科、農政科ヲ主體トシテ居ルカ、兩者トモ其ノ行フ調査ノ地域の範圍ハ大部分哈爾濱市内ニ限定サレテ居ル。具體的資料ヲ發表セサル爲詳細ハ不明テアルカ、商工科ニ於テ實施シタ康德四年度ニ於ケル主要ナ調査ハ新京産業部カ統轄スル資源調査ノ一部工場調査ト主要商品在貨調査ニ過キナイ。

(3) 哈爾濱日本商工會議所・附道裡商會
道外商會

商工會議所ノ調査ハ大別シテ當地業者ノ必要トスルモノ、或ハ他地ノ商工業者及他機關カラノ依頼ノ二種類ニ分ケ得ラレル。此ノ内當地商工業者ノ必要トスルモノカ殆ト全體ヲ占メテ居ルコトハ附錄第二ノ(2)實施調査内譯ヲ見テモ明瞭ニ看取シ得ラレル。昭和

十一年以降十二年八月迄約一箇年中間ノ調査總數ノ内、商工業ニ關スルモノノミニテモ約八〇%テ、夫レニ比較的密切ナ關聯カアル企業、金融物價ノ二項ニ關スル調査ヲ追加スレハ九三%強トナツテ居ル。依頼セラレタル調査ニセヨ營業者要求ノ調査ニセヨ商工關係ノモノカ斷然多イコトハ當所調査ノ第一ノ特色テアル。

次ニ調査ノ地域的範圍ハ哈爾濱カ絕對ニ多イ。總數二七五ノ内二三九ハ哈爾濱ニ限定サレタ地域的調査テアリ、其ノ他數地方ノ中ニモ哈爾濱ヲ主トスルモノモ含マレテ居ルノテ、此ノ傾向ハ更ニ強化サレル。此ノ局地的調査ト共ニ内容ノ範圍カラ見テモペンガラ需給狀況調査、空瓶買入狀況調査、獸蹄取引ノ實情研究、如ク調査ト云フヨリハ經濟情報ノ如キ極メテ微細ニ區別化サレタ調査カ大部分テアルコト、再言スレハ地域の範圍ニ於テモ内容的範圍ニ於テモ極メテ局地的箇別的調査カ多數ヲ占メ從テ調査ノ内容モ微細多岐ニ亘リ其ノ調査件數モ極メテ多イコトカ當所調査ノ第二ノ特色テアル。

調査ノ性質カラ見レハ、現象的調査カ殆ト全部テアツテ基礎的調査ハ極メテ少イ。例ヘ基礎的調査タル傾向ヲ帶ヒテ居ル「北滿南滿工業條件調査」ノ如キモ當地業者ノ要望ヲ滿スモノトシテ採リ上ケラレテ居リ、「第三次關稅改正ニ對スル要望」モ當地業者ノ立場カラ批判要請シタモノテアツテ、基礎的調査ノ中ニモ一般的觀點ヨリハ特殊ナ觀點

カラノモノカ大部分テアルコトハ極メテ注意ニ値ヒスル。更ニ本來的ニハ基礎的調査ト現象的調査ノ統一タルヘキ一般經濟調査ニ就テ見レハ、「松花江、黑龍江岸ニ於ケル調査」テハ「江岸ニ於ケル疊表需給狀況、兩江ニ於ケル漁業方法、兩江岸地ニ於ケル電氣事業、兩江岸主要地人口ト將來ノ歸趣、兩江岸製粉事業ト麥粉需給狀況、兩江岸ニ於ケル綿糸布需給狀況、兩江岸ニ於ケル陶磁器需給狀況、兩江岸ニ於ケル寫真機及材料流入狀況、黑河ノ對蘇密貿易トチエルボウネツツ紙幣ノ流通狀況、兩江岸砂糖流入及消費狀況」、「圖佳線及虎林線兩線地方調査」テハ「牡丹江ヲ中心トセル地帶ノ電燈、電話現況ニ關スル調査、東北滿洲ニ於ケル土建事業、牡丹江ニ於ケル煖房工事狀況、牡丹江地方ニ於ケル電氣事業界及自動車界ニ關スル調査、新線地方セメント需給狀況ニ關スル調査、新興都市牡丹江ノ現況ト將來」ノ如ク箇別的現象的調査ノ寄セ集メノ觀アル調査テアリ統一アル方法論カ缺除シテ居ルコトハ内容ノ多岐ニ拘ラス北滿調査界ニ極メテ寂シイ感シヲ與ヘテ居ル。斯ノ如キ一般的基础的調査カナイコトアルニシテモ極メテ箇別的ナ立場カラノモノテアルコトカ當所調査ノ第三ノ特色テアル。

商工會議所ニハ專任ノ調査課ヲ置キ最モ能動的ニ活動シテ居ル、然シ人員ハ助手共全部テ七人ナノテ組織トシテハ充實セル調査機關トハ謂ヘナイ。然シ會員タル各種商工業

ノエキスパートヲ或程度迄動員シ得ルノテアツテ、工業振興、中小金融機關ノ整備等ニ就テハ別ニ懇談會或ハ委員會ノ如キモノヲ組織シテ之カ任務ノ遂行ニ當ツテ居ル。從テ此ノ點カラモ調査カ業者ノ希望乃至要請ヲ具體化スルヘキ本質的任務ヲ基礎トシナケレハナラナイコトカ斷シ得ラレル。

當所調査課ニ於テ爲サレタ調査ハ通報トシテ旬刊ノ形態テ各會員ニ配付サレル。別ニ北滿經濟月報トシテ主要ナ調査ヲ掲載シテ居ル。最近更ニ特報トシテ最モ迅速ニ調査カ提供サレル計畫カ立テラレテ居ル。之ハ寧ロ經濟情報ニ屬スルト云フヘキテアラウ。

商工會議所ノ調査課ハ其ノ性質カラ言ツテ商工業者ノ要請ヲ主體トシタ情報的調査機關テアル。

附

哈爾濱道裡商會、道外商會

現在ノ商會ハ過去ノ自治的統制的機能ヲ全ク失ツタ老朽商工業機關テアル。何レモ調査股ヲ置キ專任ノ調査員カ僅カ二名居ルカ、方法論的水準カ極メテ低度テ、自ラ機能の調査機關トシテハ全ク活動シテ居ナイト言ツテイイ。調査ノ地域的範圍ハ更ニ狹少トナツテ哈爾濱ヲ數區ニ劃分シテ居ル。哈爾濱市内タケテモ五ツノ商會カアル。道裡、道外ヲ主要ナモノトシテ更ニ新安埠、香坊、顧鄉屯ノ各商會テアルカ前二者ヲ除イテハ有名無實ノ存在ニ過キナイ